



全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が共催で募集した「中学生の税についての作文」において、祁答院明香さんが熊本国税局長賞を受賞しました。  
(原文は次のとおり)



けどういんはるか  
祁答院明香さん(入来中学校2年)  
「中学生の税についての作文」で入賞

私たちの暮らしと税

入来中学校2年 祁答院 明香

私は、税金があつて良かったと思います。それは、税金によって助かることがいくつもあるからです。

例えば、私たちの教育費です。日本の今の小、中学生は、義務教育のおかげで教科書などが無償で配付されます。わざわざ買わなくても、勉強ができます。そのおかげですべての小、中学生に学ぶ機会が与えられ、基本的な知識を身につけることができます。

また、医療費の補助もあります。私の住んでいる市では、ある保険に入っていれば中学生以下の医療費は全額保障されます。だから、実質的には病院やクリニックで中学生以下の診療代は無料になります。私も、数ヶ月前に体調を崩した時に何度もクリニックや病院に連れていってもらいました。そ

の度に、検査をしたり、薬をもらったり、診察してもらいました。その分だけ、毎回お金がかかっていたと思います。だから、私はなんとなく申し訳ないような気がしていました。ですが、税金について調べてみて初めて市のこの制度について知り、少し気が楽になりました。

もちろん、中学生以下だけでなく、全ての人が助かる使い道もあります。それは、道路を舗装したりして街をきれいにすることで、危険な所を直したり、古い所を新しくしたりして、街を安全かつ便利に保つことができます。このように、税金は様々なところで役に立っています。しかし、そのためにはもちろん税金を納めなければなりません。

「納税」は国民の義務です。中学生の私が直接納めているのは、主に消費税だけです。しかし、大人になると、自動車を持つている人が納める自動車税や、その自動車に入れるガソリンに含まれるガソ

リン税、お酒に含まれる酒税、住民税、所得税、固定資産税、会社などを持つようになれば法人税……など、更に様々な税金を納めることもあるようです。

私は、「税金」と聞くと少し難しく考えてしまいます。日々の暮らしの中で税金のことについて意識することはあまりありません。しかし、税金は大切なものだと思います。社会や地域をもっと良い状態にしたり、その状態を保つたりするための「納税」という重要な役割を、私たち一人ひとりが背負っているのです。利用するときもそうです。大切で重要なものだからこそ、私たち小、中学生の教科書や公共サービスなども、税金の無駄遣いにならないよう利用すべきだと私は思います。少子高齢化が進むこれからの社会で、大切な税金を活かしていくためにも、公共サービスを頼るだけでなく、その在り方を考え意見できる納税者でありたいです。

(原文掲載)



市内各地から  
今年も登場  
「荷馬車組合」手作りの干支  
平成26年12月7日撮影

まわりの話題



11月23日(日)に東京で開催された農林水産祭(農林水産省などが主催)の水産部門で、最高賞の天皇杯を受賞した(株)下園薩男商店(阿久根市)の社長ら関係者が、後日、岩切秀雄市長を表敬訪問しました。同賞の受賞は、同社が本市工場で製造している、苦味の少ないウルメイワシの丸干しと洋風味の菜種油を使った瓶詰め「旅する丸干し」が高い評価を受けたものです。

「旅する丸干し」が  
天皇杯受賞



川内小学校は、富士通(株)の協力でタブレットPCを導入し、授業で意見交換や発表のときに活用しています。子どもたちは身を乗り出しながら画面を見つめ、きらきら輝く表情で操作しています。子どもたちの「もっと知りたい」「もっと学びたい」という意欲を高めていきたいと思います。  
【提供】=同小学校



タブレットPCで  
学習意欲が向上!!



12月10日(水)、平佐西小学校で読書ボランティア「あいあい」発足10周年記念事業を行いました。市内で活躍中の「夢のたね」による影絵を中心としたおはなし会や熊本から講師を迎えて講演会を行い、同時に10周年記念冊子を発行しました。  
【提供】=同事業実行委員会

川内  
子どもたちのための  
読書ボランティアが10周年



11月15日(土)、青瀬地区コミュニティ協議会と甌島圏域サブセンター下甌事務所主催で認知症徘徊模擬訓練を実施しました。当日は、同地区を中心に44人が訓練を行いました。参加者からは、地域で「声を掛け合うことは大切なこと」「今後も住み慣れた地域で最後まで暮らすためみんなで協力していきたい」との声がありました。

下甌  
認知症徘徊模擬訓練



11月22日(土)・23日(日)、中央公民館で「中央公民館まつり」を開催し、同公民館で学ぶ学級生による作品展示や舞台発表が行われました。また、23日(日)には落語家の林家彦いちさんによる社会教育講演会も行われ、落語を交えたよもやま話に満席の会場は笑いの渦に包まれました。

中央公民館まつり  
社会教育講演会を開催